



〒260-8712 千葉市中央区仁戸名町673 TEL043-261-5171

独立行政法人国立病院機構千葉医療センター 千葉東病院



## 地域医療連携室長就任のご挨拶

このたび、千葉医療センター千葉東病院の地域医療連携室長ならびに統括診療部長に就任することになりました中澤卓也です。

本病院は今年度より、従来の国立病院機構千葉東病院という名称から千葉医療センター千葉東病院に名称変更がなされました。私も本年7月より地域医療連携室長並びに統括診療部長を拝命しております。

私は正直なところ「人の命を守り、心に寄りそう医療をしたい」という崇高な思いを持って医師になったかと言われるとそこまで自信はありません。しかし、これまでの医師としての経験で良き恩師、先輩方に出会い、一人前の内科医になれたと考えており、関係各位にまず感謝し、自ら努力しさらに将来の後輩につないでいければと考えております。



中澤 卓也

昨今、医療危機が叫ばれており多くの病院が赤字経営に苦しんでおります。皆様もそれは実感しておられるかと思います。いくつもの複合的な要因が重なっており、この方策を行ったら概ね解決するなどという特効薬的な処方箋はないように思いますが、現在病に苦しんでいる患者さんのため、さらには自分らに続く世代のためにも日本の医療環境を守りさらに可能な限り発展させていきたいと考えております。

目指すべき方策として当院では、「チーム医療」を大切にしたいと考えています。現代の医療は、さまざまな職種の人たちが協力し合い、患者さんを中心に安全で安心な医療を届けることが大切です。私たちの病院でも、医師・看護師・薬剤師・リハビリ・検査技師・医療ソーシャルワーカーなど、多くの専門家が力を合わせています。これからも、みんながそれぞれの役割を活かして仕事ができるように、コミュニケーションや情報共有をしっかりと行い、働きやすい環境をつくっていききたいと思います。さらに、患者さん一人ひとりの気持ちや希望に寄りそった医療にも力を入れます。治療やケアを決めるときは、患者さんやご家族の思いを大切に、安心して治療を受けてもらえるようにします。

地域連携室長としてもこの「チーム医療」を地域の医療機関まで広げていくようにしていきます。

最後に、当院に関わるすべての方が「この病院で働けてよかった」「ここで治療を受けてよかった」「この病院に患者を受け入れてもらえてよかった」と思ってもらえるように、病院のスタッフ全員、地域の医療機関の皆様と一緒に力を尽くします。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

# 重症心身障害病棟行事「運動会」

療育指導室 保育士 竹田 湧司

当院重症心身障害病棟にて、去る6月24・25日、7月1・2日に「運動会」を開催しました。

この日のためにポスターを作り、競技の練習を重ねてきた利用者さんたちは、始まる前から気合い十分！期待に満ちた表情を見せていました。

赤組と白組に分かれての「応援合戦」を皮切りに、「玉入れ」、「綱引き」、「借り物競争」の3種目を実施しました。手作りの装置を使った「玉入れ」は、制限時間内にカゴへたくさんボールを入れた組が勝ち。皆さん脇目も振らずに次々とボールを投げ入れ、早くも白熱した戦いが繰り広げられました。次の「綱引き」は、ロープに付けたカラフルなスカーフを利用者さんと職員が一緒に持って行いました。「オーエス、オーエス！」と掛け声に合わせてロープを引っ張り合い、とても和やかな雰囲気になりました。そして「借り物競争」では、テーブルに置いた4枚のお題カードの中から1枚を引き、そこに書かれたものと同じものを会場内で見つけてゴールを目指します。キャラクターのぬいぐるみや楽器、サッカーボールといったお題を一生懸命探しますが、中には柱の上やカーテンの陰に隠れている難易度高めのものも…。それでも、お互いにヒントを出し合いながら見つけることができ、全員が笑顔でゴールできました。どの競技も、皆さん真剣な表情で取り組んでいたのが印象的でした。

最後の成績発表では、優勝チームに優勝カップが授与され、「みんな、よく頑張りましたね！」と拍手でお互いに健闘を称え合いました。一人ひとりにとって、楽しい夏の思い出のひとつになったのではないのでしょうか。

今後も、利用者さんの日常が少しでも豊かなものになるよう、様々な行事を企画していきたいと考えています。



玉入れ



綱引き



借り物競争



優勝カップ



## 感染管理

感染管理看護師 阿部 奈緒美

感染管理認定看護師は、病院において患者さんや家族の方、病院内で働くスタッフすべての感染を予防・管理する役割があります。患者さんや家族、病院スタッフが感染対策を意識し実践できるよう、実践可能な感染対策を常に考え活動していきます。感染対策の第一歩は、清潔な手で医療・看護を提供することです。病院スタッフは患者さんに触れる前後で手指消毒を実施しています。気になる点があればお声かけください。



### 毎月第3水曜日は 「みんなで認知症ケアラウンドの日」

認知症看護認定看護師 佐野 明子



当院では、毎月第3水曜日の14時から多職種での認知症ケアラウンドを行っています。看護師のほか、医師・薬剤師・作業療法士・心理士・MSW（医療ソーシャルワーカー）で構成されたチームで病棟をまわります。患者さんの様子について情報を共有しながら、それぞれの専門職の視点で「どんなケアが必要か」「どんな関わりができるか」を話し合い、病棟スタッフと一緒にケアの工夫を考えています。

～認知症があっても、安心して治療や入院生活が送れるように～  
スタッフみんなで力を合わせて、よりよいケアを目指しています。

## 旬の味覚&熱中症対策 梨

### 秋も熱中症に注意！対策に梨

次第に秋の気候へと移り変わるこの時期、だるさ・胃腸の疲れなどの「夏バテ」の症状が残っているが、秋の「乾燥」と「冷たい空気」にさらされ、体調を崩しやすいと言われています。

熱中症対策の基本は、こまめな水分補給と主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスの良い食事です。また、必要な栄養素を含んだ食品を食べることも効果的です。梨は、切ってそのまま食べることができる手軽さだけでなく、熱中症対策に効果的な栄養素が含まれています。

#### 【水分】

梨の約90%は水分で、体内の水分を補う効果が期待されています。

#### 【アスパラギン酸】

たんぱく質を構成するアミノ酸の一種で、食べ物や疲労物質を「エネルギー」に変える働きをしています。

旬の味覚を味わいながら、熱中症対策をしましょう！



### カリウム制限のある方

カリウムは水に溶ける性質があり、水にさらすことで減らせます！



栄養管理室



# 重症心身障害児（者）の摂食機能向上研修会を実施しました！

摂食嚥下障害看護認定看護師 坂上 智広

千葉医療センター千葉東病院は、セーフティネット系の病院として重症心身障害児（者）の摂食嚥下機能の向上の活動を行っています。

その一環として、今年度も8月28日（木）・8月29日（金）の2日間にわたり、重症心身障害児（者）に関する摂食機能向上研修を開催し、全国の国立病院機構の病院から46名の医療スタッフの参加がありました。



1日目は、医師、看護師、理学療法士、管理栄養士、保育士の多職種がそれぞれの分野での講義を行い、重症心身障害児（者）は摂食嚥下機能の発達の遅れによる誤嚥や窒息のリスクがあることから、必要な訓練や摂食の介助方法を学んでいただきました。

2日目は、1日目で学習した摂食嚥下訓練や摂食の介助の演習を介助者役と患者役に分かれて実施しました。患者役として実際に訓練や介助を受けることで、その目的や実践を学び、より深く理解していただいたと考えます。また、グループディスカッションでは、重症心身障害児（者）が安全な摂食と健やかな療養を送るために、多職種が個々の役割をどのように発揮するか、また、自部署でできることについて検討を行いました。

今年度の振り返りから、来年度もよい研修となるよう計画をしていきたいと思っています。

## 〇2日目の実習の様子



**Instagramにて千葉東病院看護部公式アカウントができました！**

当院でのイベントや日々の業務等発信して参りますので、フォローしていただければと思います！



HHO\_CHIBAEASTHOSPITAL\_NURSING